

2 人口動態統計でみた自殺者数の年次推移

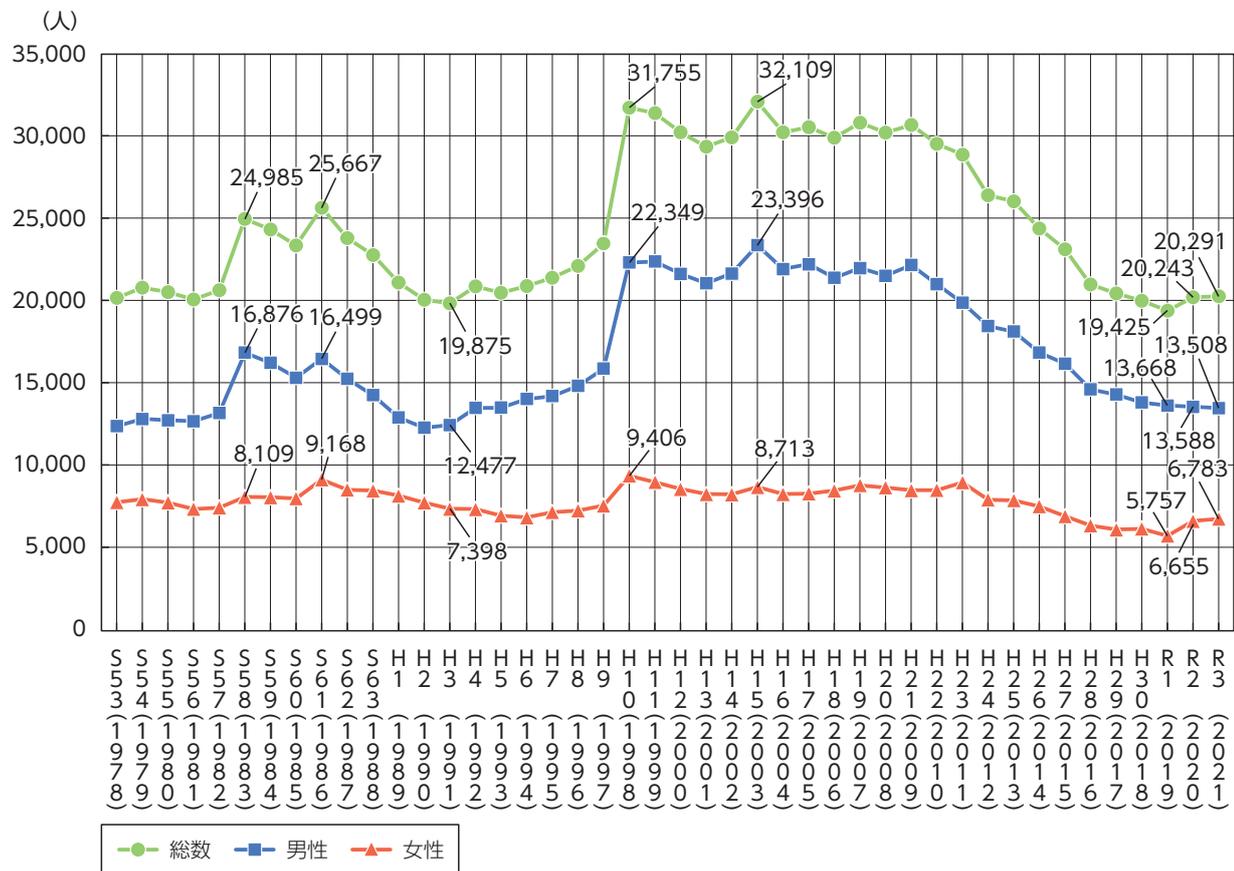
(1) 人口動態統計でみた自殺者数の推移

厚生労働省の人口動態統計は自殺統計と異なる方法で自殺の状況を集計しており、同じような推移を示すものの、数値が違うことに留意が必要である¹。

人口動態統計による自殺者数の推移をみると、昭和58年に2万4,985人に増加し、昭和61年に2万5,667人となった後、平成3年に

1万9,875人まで減少した。平成10年に前年から8,261人増加の3万1,755人となって以降3万人前後で推移していたが、平成22年以降は減少を続け、令和元年は1万9,425人となった。その後、令和2年及び令和3年には男性は減少を続けたものの女性が増加したことから、総数は2年連続で増加した（第1-9図）。

第1-9図 自殺者数の推移（人口動態統計）



資料：厚生労働省「人口動態統計」より厚生労働省自殺対策推進室作成

1 参考：厚生労働省「人口動態統計」と警察庁「自殺統計」の違い

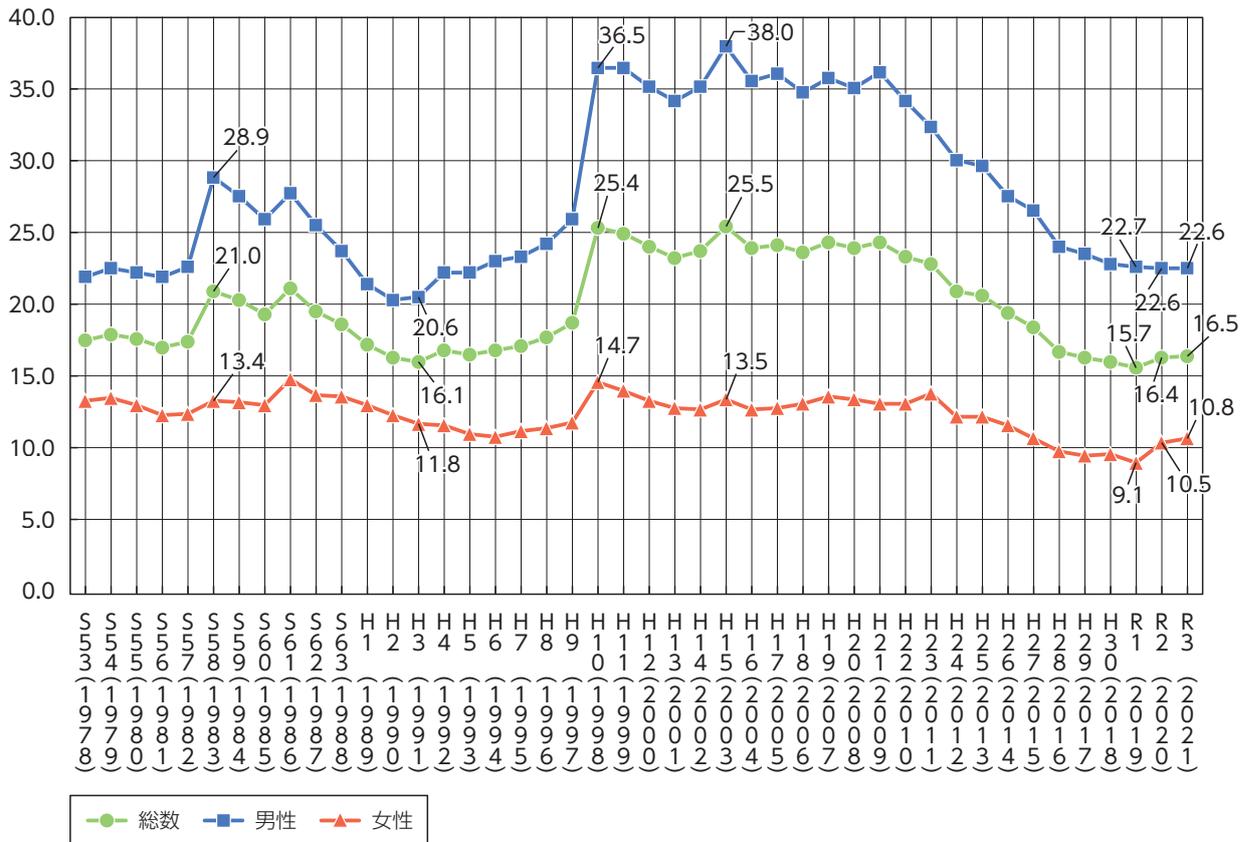
- ① 日本における外国人の取扱いの差異：「自殺統計」は、日本における日本人及び日本における外国人の自殺者数としているのに対し、「人口動態統計」は日本における日本人のみの自殺者数としている。
- ② 調査時点の差異：「自殺統計」は、捜査等により自殺であると判明した時点で、自殺統計原票を作成し計上しているのに対し、「人口動態統計」は自殺、他殺あるいは事故死のいずれか不明のときは原因不明の死亡等で処理しており、後日原因が判明して死亡診断書等の作成者から自殺の旨訂正報告があった場合は、遡って自殺に計上している。
- ③ 計上地点の差異：「自殺統計」は、発見地に計上しているのに対して、「人口動態統計」は、住所地に計上している。

(2) 人口動態統計でみた自殺死亡率の推移

自殺死亡率の推移を人口動態統計で見ると、昭和63年から平成9年までは16.0から19.0の間で推移した後、平成10年に25.4へと急上昇した。平成15年の25.5まで高い水準が続いた後、平成22年から令和元年まで低下傾向となった。令和2年は16.4と上昇に転じ、

令和3年は16.5と2年連続で上昇した。男性の自殺死亡率は女性の約2倍となっており、男性は平成15年に38.0となった後大きく低下し、令和3年は22.6となった。女性は平成10年に14.7となった後緩やかに低下して令和元年は9.1となったが、令和2年は10.5、令和3年は10.8と2年連続上昇した（第1-10図）。

第1-10図 自殺死亡率の推移（人口動態統計）



資料：厚生労働省「人口動態統計」より厚生労働省自殺対策推進室作成

(3) 死因順位からみた自殺の状況

10歳から64歳までの年齢階級別に令和3年の死因順位をみると、5歳階級でみた10歳から39歳までの死因の第1位が「自殺」となった。年齢階級ごとの全死亡者に対する割合をみると、特に「15～19歳」、「20～24歳」及び「25～29歳」の年齢階級では死因の半数以上

が「自殺」によるものであった(第1-11表)。

男女別にみると、男女ともに「55～59歳」及び「60～64歳」を除く全ての年齢階級で「自殺」は死因の3位以内に入っており、特に男性は10歳から44歳の、女性は10歳から34歳の各年齢階級(各5歳階級)において、「自殺」による死因が第1位となった。

第1-11表 令和3年の死因順位別にみた年齢階級及び性別の死亡者数、死亡率²、構成割合

総数

年齢階級	第1位					第2位					第3位				
	死因	死亡数	死亡率	割合(%)	死因	死亡数	死亡率	割合(%)	死因	死亡数	死亡率	割合(%)			
10～14歳	自殺	128	2.4	29.0	悪性新生物<腫瘍>	82	1.5	18.6	不慮の事故	52	1.0	11.8			
15～19歳	自殺	632	11.5	52.5	不慮の事故	162	2.9	13.5	悪性新生物<腫瘍>	126	2.3	10.5			
20～24歳	自殺	1,285	21.8	58.9	不慮の事故	239	4.1	10.9	悪性新生物<腫瘍>	157	2.7	7.2			
25～29歳	自殺	1,241	20.9	53.4	悪性新生物<腫瘍>	225	3.8	9.7	不慮の事故	201	3.4	8.7			
30～34歳	自殺	1,180	19.0	41.2	悪性新生物<腫瘍>	517	8.3	18.1	心疾患(高血圧性を除く)	197	3.2	6.9			
35～39歳	自殺	1,297	18.3	30.2	悪性新生物<腫瘍>	946	13.4	22.0	心疾患(高血圧性を除く)	377	5.3	8.8			
40～44歳	悪性新生物<腫瘍>	2,037	25.6	28.5	自殺	1,527	19.2	21.3	心疾患(高血圧性を除く)	757	9.5	10.6			
45～49歳	悪性新生物<腫瘍>	4,296	45.0	31.4	自殺	1,945	20.4	14.2	心疾患(高血圧性を除く)	1,693	17.7	12.4			
50～54歳	悪性新生物<腫瘍>	7,445	82.0	35.5	心疾患(高血圧性を除く)	2,797	30.8	13.4	自殺	1,852	20.4	8.8			
55～59歳	悪性新生物<腫瘍>	11,365	147.8	40.9	心疾患(高血圧性を除く)	3,544	46.1	12.8	脳血管疾患	1,996	26.0	7.2			
60～64歳	悪性新生物<腫瘍>	17,660	242.0	44.0	心疾患(高血圧性を除く)	5,122	70.2	12.8	脳血管疾患	2,645	36.2	6.6			

男

年齢階級	第1位					第2位					第3位				
	死因	死亡数	死亡率	割合(%)	死因	死亡数	死亡率	割合(%)	死因	死亡数	死亡率	割合(%)			
10～14歳	自殺	60	2.2	24.6	悪性新生物<腫瘍>	49	1.8	20.1	不慮の事故	40	1.5	16.4			
15～19歳	自殺	380	13.4	50.3	不慮の事故	122	4.3	16.1	悪性新生物<腫瘍>	76	2.7	10.1			
20～24歳	自殺	821	27.3	57.0	不慮の事故	189	6.3	13.1	悪性新生物<腫瘍>	109	3.6	7.6			
25～29歳	自殺	828	27.3	54.2	不慮の事故	152	5.0	10.0	悪性新生物<腫瘍>	119	3.9	7.8			
30～34歳	自殺	826	26.1	44.9	悪性新生物<腫瘍>	222	7.0	12.1	心疾患(高血圧性を除く)	156	4.9	8.5			
35～39歳	自殺	927	25.7	33.4	悪性新生物<腫瘍>	395	11.0	14.2	心疾患(高血圧性を除く)	294	8.2	10.6			
40～44歳	自殺	1,076	26.6	24.2	悪性新生物<腫瘍>	779	19.3	17.5	心疾患(高血圧性を除く)	587	14.5	13.2			
45～49歳	悪性新生物<腫瘍>	1,865	38.5	21.4	自殺	1,374	28.3	15.8	心疾患(高血圧性を除く)	1,362	28.1	15.6			
50～54歳	悪性新生物<腫瘍>	3,470	75.6	25.7	心疾患(高血圧性を除く)	2,267	49.4	16.8	自殺	1,276	27.8	9.5			
55～59歳	悪性新生物<腫瘍>	6,141	159.4	32.9	心疾患(高血圧性を除く)	2,941	76.3	15.8	脳血管疾患	1,425	37.0	7.6			
60～64歳	悪性新生物<腫瘍>	10,834	299.6	39.1	心疾患(高血圧性を除く)	4,112	113.7	14.8	脳血管疾患	1,849	51.1	6.7			

女

年齢階級	第1位					第2位					第3位				
	死因	死亡数	死亡率	割合(%)	死因	死亡数	死亡率	割合(%)	死因	死亡数	死亡率	割合(%)			
10～14歳	自殺	68	2.6	34.5	悪性新生物<腫瘍>	33	1.3	16.8	先天奇形、変形及び染色体異常	18	0.7	9.1			
15～19歳	自殺	252	9.4	56.3	悪性新生物<腫瘍>	50	1.9	11.2	不慮の事故	40	1.5	8.9			
20～24歳	自殺	464	16.1	62.4	不慮の事故	50	1.7	6.7	悪性新生物<腫瘍>	48	1.7	6.5			
25～29歳	自殺	413	14.2	51.9	悪性新生物<腫瘍>	106	3.6	13.3	不慮の事故	49	1.7	6.2			
30～34歳	自殺	354	11.6	34.5	悪性新生物<腫瘍>	295	9.7	28.8	不慮の事故	45	1.5	4.4			
35～39歳	悪性新生物<腫瘍>	551	15.8	36.2	自殺	370	10.6	24.3	心疾患(高血圧性を除く)	83	2.4	5.5			
40～44歳	悪性新生物<腫瘍>	1,258	32.2	46.4	自殺	451	11.5	16.6	心疾患(高血圧性を除く)	170	4.4	6.3			
45～49歳	悪性新生物<腫瘍>	2,431	51.8	49.0	自殺	571	12.2	11.5	脳血管疾患	400	8.5	8.1			
50～54歳	悪性新生物<腫瘍>	3,975	88.6	53.4	自殺	576	12.8	7.7	脳血管疾患	559	12.5	7.5			
55～59歳	悪性新生物<腫瘍>	5,224	136.2	57.2	心疾患(高血圧性を除く)	603	15.7	6.6	脳血管疾患	571	14.9	6.3			
60～64歳	悪性新生物<腫瘍>	6,826	185.3	55.2	心疾患(高血圧性を除く)	1,010	27.4	8.2	脳血管疾患	796	21.6	6.4			

注) 構成割合は、それぞれの年齢階級別死亡者を100とした場合の割合である。

資料：厚生労働省「人口動態統計」より厚生労働省自殺対策推進室作成

2 「死亡率」とは、人口10万人当たりの死亡者をいう。また、死因順位の分類は人口動態統計と同様、死因簡単分類表を用いた。